

「海外から来られた新たな仲間」(No.1)

最初はどうなるかと思った「業界で活躍する女性の紹介」は、現在までに10人の方々をご紹介いたしました。そして、今回新たに「海外から来られた新たな仲間」を開始します。まだまだ日本社会は多様性に関し、寛容でない部分が散見されます。それを改善するための企画ではありますが、新たな仲間たちが不利益を被らないように、また、本音でお話しいただけるように匿名としました。

いつの日か「あれは私だったんですよ(笑顔)」で言ってもらえる業界、ひいては日本社会になってほしいと切に願っております。



＜日本に来るきっかけ＞

中国で外国語大学の日本語専攻に入学し、日本語、日本文化を学んだ。当時、多くの日本ドラマが流れていて、GTO、東京ラブストーリーなど、よく日本語が耳に入っていた。しかし、意味は全く分からず悔しかった。大学入学時の日本に対する印象は、マスコミと本とドラマだけであった。このため、いつか自分の目で確認したいとの強い思いがあり、両親と相談し、日本への留学を決意したことが日本に来るきっかけである。

＜日本に来てよかったこと＞

「真面目」、「匠精神」

大学生の頃に、ラーメンにはまった時期があった。留学先の市内のラーメン屋さんをほぼ回っていた。鶏ガラ、豚骨醤油、みそ、塩、太麺、細麺、固め…、どの味にしても、どの組合せにしても美味しくてたまらなかった。

なぜそんなに美味しいのかと思い、気になったラーメン屋さんでアルバイトを始めた。

店長さんが真面目な性格で、食材の選定、タレの使用量、火加減などすべてマニュアルとして綺麗に記録していた。

麺をゆでる時間のこだわりはもちろん、さらに、出来上がった麺をお客様まで運ぶ時間まで追求していた。匠のクオリティのままお客様に提供し、味わってもらうためだった。大学院を卒業するまで、その店で6年間アルバイトしていた。店長さんから沢山のアドバイスをいただき、今の仕事にも生かしている。製品開発には特にこの匠精神が必要であり、そして良いものをよい時間でお客様へ提供できるのは「納期を守る」ということだと考えている。

＜日本でがっかりしたこと＞

やる気のある若者が減っている

豊かな生活を送られているため、遠い将来までを心配している人が減っているのが原因だ
と思う。新入社員の中にも物事に対する好奇心を持っている人が少ない印象がある。やら
されるのではなく、自ら進んで行うのができたらよいかと思う。

＜趣味や生きがい＞

会社に入った際の上司からの勧めで、ゴルフを始めた。それ以来、すっかりゴルフにハマ
り、練習場での練習も習慣になった。

最少スコア目標を達成するために、リスク（天候、地面、畏など）を考え、クラブを選定
し、構え方（アドレス）、そしてメンタル強く、自信を持って実行すると一連のプロセス
は、まさに人生の縮図であると感じている。

＜私の夢＞

大学生の頃、県の中国留学生学友会会長を務めた経験があり、当時の気持ちを今も同じく
持っている。

私の住んでいる県はじめ両国の各界の人々が中国との交流の伝統を受け継ぎ、発揚し、中
日協力事業を一段と推し進め、中日の平和共存、代々の友好の実現に積極的に貢献できる
よう心から希望している。

＜日本人へのアドバイス＞

曖昧な表現をやめよう！

特に会議の時、長時間議論したにもかかわらず、あれ？この案は実行するのか？しないの
か？というような結論に至らないまま終わってしまうことがしばしばある。

「やめたほうがいいんじゃないの？」や、「私に聞いても…」などのような曖昧に表現す
るのが本当に効率の悪いことだと思う。会議だからこそ、自分の意見をはっきり言ってほ
しい。

＜これから日本で仕事をする海外の方へのアドバイス＞

中国のことわざに「入郷随俗」、日本では、郷に入れば郷に従えという言葉があります。
例えば、「安全確認」、作業場でも指差し確認を要求され、面倒だ、意味ないだと思っ
ている人がいるかもしれないが、それは、自分の命、他人の命、そして会社に関わる大切なこと
である。要するに、この国で生活する上に、自分のことだけではなく、他人に迷惑をかける
行為だと認識してもらいたい。

「海外から来られた新たな仲間」

万引防止システムの業界には、海外から来日された方々、帰化された方々がいら
っしゃいます。互いの相互理解を深めることで、温かな人間関係作り、生産性向
上、その先にある社会の持続的再生産に貢献したいと思います。万引対策等の防
犯活動の現場または支援活動の中で活躍されている海外から来られた新たな仲
間を紹介いただきたく、お願い致します。

工業会 日本万引防止システム協会 総務委員会